

2012 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 13:25～14:25 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(30点)

16世紀には、いわゆる大航海時代^①の影響で、ヨーロッパの商業圏の中心軸がバルト海・地中海から大西洋・北海に移行した。また、英仏などでの中央集権的国家形成の動きや、17世紀の三十年戦争によるドイツでの領邦国家の成立の影響で、ハンザ同盟^②の存続に終止符がうたれた。わずか8都市が代表を送るのみに終わった1669年のハンザ会議を最後に、同盟は機能を完全に失った。17世紀以降、バルト海の貿易は、すでにオランダの独壇場であった。

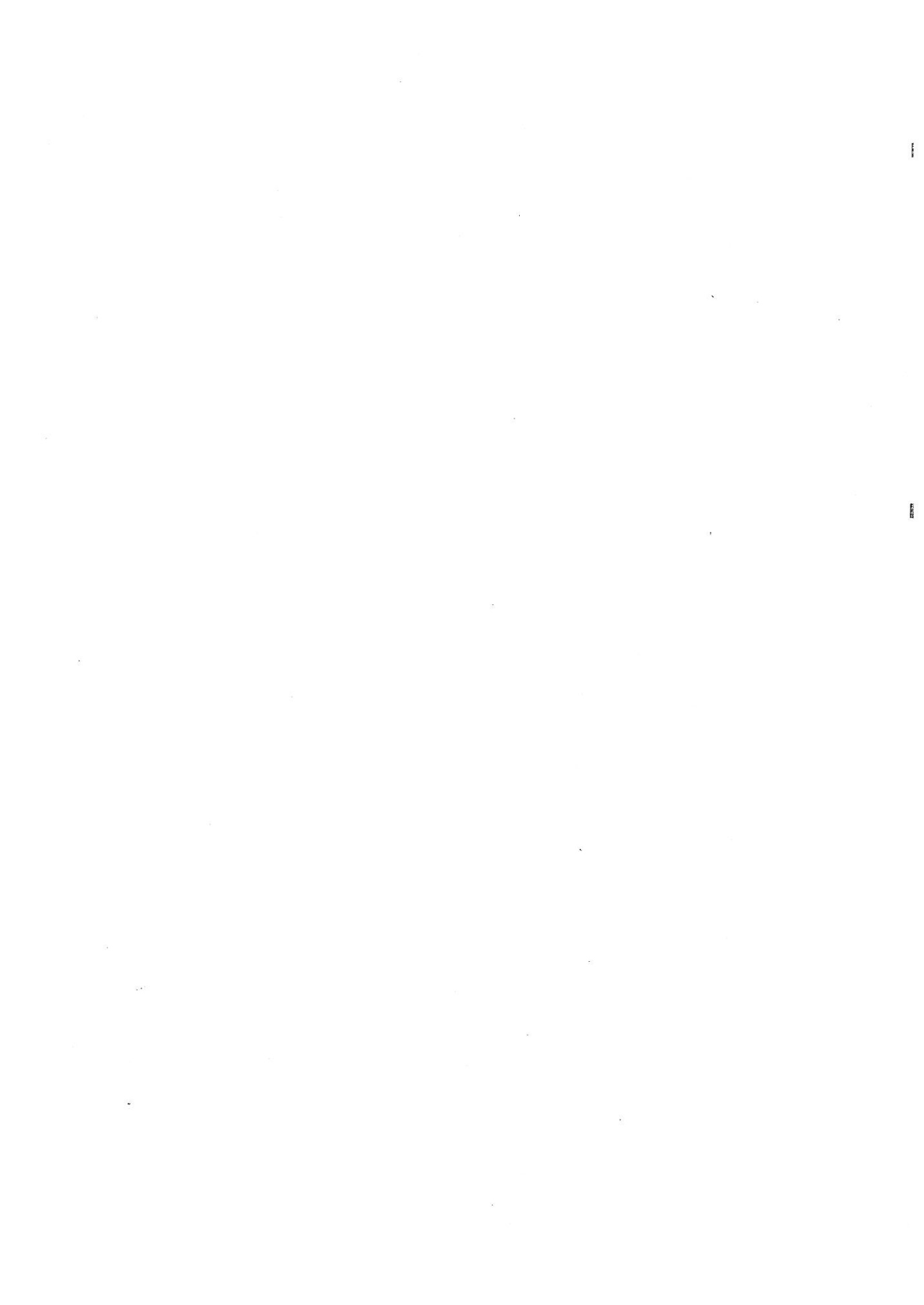
17世紀はオランダの黄金時代と呼ばれる。オランダの経済発展はスペインからの独立戦争^③の過程で成し遂げられるが、そのための戦費調達も容易に成し遂げられた。ただし、オランダは後のイギリスのような中央集権的な行政・財政制度をもっていたわけではなく、7つの州からなる連邦国家であった。オランダには国王がおらず、ホラント州^④の総督が指導権を発揮することが多かったが、この総督として、オランダの君主というわけではなく、現実にはオランダの支配権を握っていたのは各州であった。

オランダには、各州の代表者からなる連邦議会があったが、その権限は限定されていた。連邦議会はハーグで開催され、対外政策、戦争や和平の宣言などオランダ共和国全体に関する問題を扱ったが、総督がそれに参加することもなかった。

戦費調達のために、オランダは多額の債務を負うが、その裏付けとなる徴税活動は州単位で行われ、イギリスのような中央銀行設立もなされなかった。債務負担・徴税^⑤の主体はあくまで州であった。

オランダ商人の活動は、オランダ国家の積極的支援をあまり受けられなかったが、中継貿易に依存するオランダ経済は、18世紀に入ってもヨーロッパの中で高い生活水準を維持することが出来た。これは中央集権的国家形成の遅れが必ずしも経済発展に不利に作用するとは限らないことを示している。

オランダの中でもアムステルダムは、人口の流動性の非常に高い都市であった。アムステルダム市^⑥市居住者中、同市出身者の比率は17世紀には30%台、それ以降も50%台とかなり小さかった。むしろ、アムステルダムは北海・バルト海地方への重要なゲートウェイとなり、この都市を通じて、多数の商業上の情報やノウハウが諸地域へ



と流れていったと考えられる。これによって、北方ヨーロッパの商業技術、商業ノウハウは同質化し、同じような商業システムをもつ人々が拡散することで、商業活動は円滑に進むようになり、取引費用が低下することにもなったのである。

ヨーロッパ全体を見渡した場合、アムステルダムからの移民の移住先として重要だったのは、ロンドンとハンブルクであり、1689年にオラニエ公ウィレム3世がイングランド国王になって以来、ロンドンとアムステルダムとの金融関係が密になっていったことはよく知られている。

17世紀のオランダが分裂的国家であったのに対し、18世紀に台頭するイギリスは中央集権的国家であった。しかも、財政制度の集権的整備という点で、ヨーロッパにおいて他の追随を許さなかった。

いわゆる第二次百年戦争(1689~1815年)の間、主にフランスとの間で数多くの戦争を遂行したイギリスは、戦費調達のために政府の債務負担が肥大化する。この時期のイギリス政府は借金漬けの財政状態であったが、他方でそれを賄うシステムがうまく機能していた。

1690年代において、イギリスの国家歳入の中では、依然として地租が最大の要因であった。しかしその後、消費税の比率が著しく増大する。消費税は地租に比較して、経済発展に伴う収入増加が期待できる租税と言えた。フランスはたとえ経済発展をしたとしても、地租等の直接税への依存度が高かったため、¹⁹ 税金の伸びはあまり期待できなかった。そのため、イギリスは債務が増大しても、消費税による歳入増によって対応することが可能であったが、フランスには不可能であった。

イギリスの消費税は、貧民の生活必需品を慎重に避けながら、主に奢侈品にかけられた。これは、長期的には、その商品に対する需要が所得の増加以上のスピードで増加することを意味しており、例えば、ビール、石炭、石炭、皮革、ガラスなどがこれに当たった。

また、従来、消費税等の間接税は、都市や封建領主など国家以外の主体によって徴収されることが多かったが、イギリスではこれがもっぱら国家の収入源へと再編され、また、徴税請負人などを排し、専門の国家官吏が徴税業務を担当するようになっていた。

このため、イギリスの国家財政には、重税に耐えながらも経済成長を促す効果があった。これこそが、財政=軍事国家の根幹であり、これによって、フランスとの戦争に勝利し、大西洋帝国の形成に成功したのである。^①

問1 下線部①について、南米大陸に位置していて、オランダの植民地から独立した国を一つ答えなさい。

問2 下線部②とバルト海商業の覇権をめぐる戦争を行った国を答えなさい。

問3 下線部③の時期の画家で「光と影の描写」で知られている人物を答えなさい。

問4 下線部④について、オランダの独立を正式に認めた条約を答えなさい。

問5 下線部⑤について、この7州が1579年に結成した同盟を答えなさい。

問6 下線部⑥について、1694年に設立された、イギリスの中央銀行を答えなさい。

問7 オランダの宗教的寛容も下線部⑦の原因として挙げられるが、独立運動の中心となったオランダの新教徒は当時何と呼ばれたか答えなさい。

問8 下線部⑧について、ジェームズ2世の即位を是認した政党(a)、反対した政党(b)をそれぞれ答えなさい。

問9 下線部⑨について、以下の戦争を古い順に記号で解答欄に書きなさい。

- ア. アメリカ独立戦争 イ. オーストリア継承戦争
ウ. ファルツ継承戦争 エ. スペイン継承戦争
オ. 七年戦争

問10 下線部⑩について、ルイ 16 世治下で、財政改革に努めた重農主義者の財務長官を答えなさい。

問11 下線部⑪について、1764 年に制定され、ある商品の密貿易禁止を強化し、北米植民地のラム酒醸造業に打撃を与えた法律を答えなさい。

問12 17～18 世紀のイギリスの「大西洋三角貿易」を 60 字以内で説明しなさい。

II 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(20点)

かつて紅茶をボストン港に投棄して、本国イギリスへの不満をあらわにしたアメリカ人であったが、独立後もティー・セレモニーをはじめとするイギリスの習慣や文化をすべて捨て去ったわけではない。イギリス製品は依然としてアメリカの消費者を惹きつけるステータス・シンボルでもあった。この消費慣行に大きな変化が生じたのは、米英戦争(1812~1814年)頃のことであり、ちょうど中南米諸国が、本国スペイン^①に対する独立戦争を本格化させた時期でもあった。

たとえば、米英戦争中、紅茶が不足したためにコーヒーへの関心が高まる。これに呼応するかの^②ように、1820年代にはブラジルで生産されたコーヒーが少しずつアメリカに出回り始める。中東やアジアなどの遠方で生産される高価なコーヒーに代わって、安価なブラジル・コーヒーが流入し始めたことは、その後のアメリカ人の消費行動に大きな影響をおよぼすことになる。

ラテンアメリカで次々に新しい独立国家が成立すると、ヨーロッパ諸国を尻目に、1823年にアメリカ大統領ジェームズ=モンローは、ラテンアメリカ諸国の主権を擁護する宣言を発するが、一方、国内では西部開拓が進んでいった。

19世紀中頃までにアメリカは、中西部にまで国境線を拡大するが、やがてアメリカ内部での政治・経済・社会体制をめぐる対立が深刻化し、とりわけ南部諸州と北部諸州とは反目しあうようになった。北部が支持する共和党のエイブラハム=リンカンが大統領に就任すると、これに反発する南部諸州との間で1861年、4年にわたる南北戦争^③が勃発する。

この時期、アメリカ全体のコーヒー消費は減少した。リンカンが輸入されるコーヒー豆に課税し、ニューオーリンズなどの南部の港を封鎖してコーヒーの自由な売買を妨害したからである。反対に北軍はコーヒーを大量に買いとり、戦地の兵士を活性化させる目的で配給したため、兵士の多くがコーヒー飲用を習慣化した。この元従軍兵士たちこそが、初期のコーヒー業界にとって重要な顧客となるのである。

1870年代には、世界最大のコーヒー生産国ブラジルに加え、コロンビアやグアテ

マラなどもコーヒーの増産体制に入った。さらに輸送・焙煎・包装などに関わる技術革新によってコストが削減されると、コーヒーの希少価値は失われ、その市場価格も低下した。こうしてコーヒーはアメリカ市民にとって手の届く飲料になっていく。

1876年には、アメリカのコーヒー輸入量は世界全体のコーヒー輸出のほぼ3分の1に相当し、そのうち4分の3がブラジルから輸入された。このころには中西部にもコーヒー文化が広がり、下層の農民や都市の労働者の中にもコーヒー愛好者が増えていった。

コーヒーが大衆化するにつれ、これまでニューヨークやボストンを中心に高価なジャワ・コーヒーの輸入で利益を上げていた大手輸入業者の独占的影響力は弱まり、その後のコーヒー産業界を牽引することになる大手の焙煎卸売業者が次々と台頭した。^⑤

第一次世界大戦中、戦場に送られた兵士にとって、またもやコーヒーは「野営地で最も人気のある飲物」となった。戦場では特に、インスタント・コーヒーが重宝されるが、大戦後、アメリカ人は以前よりも質の高いコーヒーを求めるようになり、インスタント・コーヒーは一般消費者にはそれほど愛飲されなかった。

しかし、アメリカは、第一次世界大戦後に世界一の債権国となり、いわゆる「黄金の20年代」と称される繁栄期を迎えて大衆消費社会が開花し、禁酒法の影響もあって世界で消費されるコーヒーの約半分を消費する巨大市場と化していた。アメリカの厳格なプロテスタントたちが、「巨大な悪」である酒を駆逐するために、「小さな悪」であるコーヒーを認めたという事情もあったようである。

資本力のあるコーヒー業者は、このころになるとラジオの音楽番組、喜劇、ドラマのスポンサーとなって広範な宣伝活動を展開するようになる。いまだ十分な識字教育を受けていない人々が多く存在したアメリカでは、ラジオを通じた音声による宣伝は多大なる影響力を発揮した。また、1928年には、焙煎業者の団体とコーヒー輸入業者の団体が連合する形で、全米コーヒー協会が設立され、一層大規模な宣伝・広告キャンペーンを展開して、コーヒーの普及に努めた。

1933年、大恐慌からの復興を期待されたフランクリン・ローズベルト大統領は、それまでの自由放任主義にもとづく経済政策をひるがえし、ニューディール政策に取り^⑥

組んだ。他方、禁酒法が廃止されたうえに、長引く不況で購買力の高まらないアメリカに対して、ブラジルの政府とコーヒー業者はいら立ちをつのらせていた。そのためブラジルは、国家コーヒー局を通じて他のラテンアメリカ諸国と手を組み、生産国側が主体的にコーヒー価格の決定に携わるように画策する。

しかし、間もなく第二次世界大戦が勃発し、コーヒーの輸送が困難化したことや、ヨーロッパ市場が閉鎖されたことから、ラテンアメリカ諸国は大打撃を受けることになる。世界最大のコーヒー消費国であるアメリカも、コーヒーの輸入量の確保と価格の安定のためにこうした危機的状況を看過できなくなった。

1940年に、南北アメリカ14カ国の代表がニューヨークに集い、パンアメリカ・コーヒー会議が開催され、全米コーヒー協会がリーダーシップをとって、アメリカ大陸間コーヒー協定が締結された。これによりアメリカは年間消費量を若干上回る1590万袋（1袋＝60キログラム）を買い取り、生産国側の輸出量の割合も、ブラジル60%、コロンビア20%などで落ち着いた。また、この年のコーヒー価格は、史上最低の1ポンド5.75セントまで下がったため、翌年から価格は1ポンド13.38セントへと固定されることになった。

問1 下線部①について、1820年のスペインでの立憲運動の指導者を答えなさい。

問2 下線部②について、米英戦争が「第二の独立戦争」と呼ばれる理由を40字以内で答えなさい。

問3 下線部③について、ジャクソン大統領の就任後1830年に制定された先住民関連の法律を答えなさい。

問4 下線部④について、ペンシルヴァニア州に位置し、1863年に起こった、南北戦争最大の激戦の地を答えなさい。

問5 下線部⑤について、産業独占を規制するために1890年に制定された法律を答えなさい。

問6 下線部⑥について、アメリカ合衆国が第一次世界大戦に参加するきっかけとなった出来事を答えなさい。

問7 下線部⑦について、1924年にドイツ経済を救済する目的で出された提案を答えなさい。

問8 下線部⑧について、この時期を象徴する「自動車王」とは誰か答えなさい。

問9 下線部⑨について、1933年の第7回パン=アメリカ会議で國務長官ハルが表明した外交方針は何と呼ばれるか答えなさい。

III 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(30点)

大航海時代に入るとヨーロッパ人は海路から直接中国を目指すようになる。スペイン人はメキシコを回ってフィリピンから、ポルトガル人はインドを回ってマカオから、中国本土への接近を試みた。

イタリア人宣教師マテオ・リッチはマカオにて中国語を学び、ヨーロッパの学識に加え中国古典の豊かな教養をも身につけて士大夫層と親交を結んだ。その中には改宗させることに成功した者もあり、彼らの助力もあって1601年には皇帝のいる北京に居住することを許された。王朝が交代しても宣教師たちはそのまま宮廷に任せ、文化・芸術方面で多大な貢献をなした。

リッチが基礎を築いた中国布教は康熙帝の時代に絶頂を迎える。この頃、中国に来る宣教師はイタリア人やポルトガル人主体からフランス人主体へと変わった。17世紀末にパリ外国宣教会から送られた学識豊かなフランス人宣教師たちは康熙帝の厚い信頼を得ることに成功した。これには学問好きな皇帝の性格に加え、皇帝が患ったマラリアを宣教師たちがキニーネで治したことが大きいといわれている。

しかし次の皇帝の代には18世紀初頭にキリスト教が全面的に禁止されほとんどの宣教師がマカオに追放されることとなる。この最悪の事態を回避できなかった原因には宣教していたカトリック修道会同士の内紛に加え、皇族の信者が現れたことにより皇帝が大きな衝撃を受けたことも影響しているといわれる。つづいて海での貿易が広東のみに制限されるようになり、キリスト教の布教活動は極めて難しくなる。それでもマカオ経由で密入国する宣教師は後を絶たず、18世紀から19世紀初頭にかけて大きな弾圧事件が幾度か発生している。また、ロシアとは条約の規定により使節団が北京にとどまることを許されていたことから彼らのための神父が同行していた。彼らの報告書は当時の中国についての貴重な記録であり後のロシア中国学の基礎を成した。

1842年の南京条約によって中国国内での布教権が認められた。宣教師もこの機会を利用して続々と中国に至り、キリスト教の布教は約120年ぶりに活況を呈することとなる。幾度かの対外戦争や内乱を経て、欧米列強の武力や内政干渉ともあいまって信者は急増した。中には中国の官憲の暴政を免れるため村を挙げて帰依し外国の保護を求めるような事例さえ見られる。こうした場合保護を受けられないとあっさり棄教

することが多かった。それでも信者は増え続け 1920 年代に信者は数千万人に達している。

18 世紀までの布教がカトリック中心であったのに対し、19 世紀以降の中国布教の主体はプロテスタントとあってよい。プロテスタント宣教師は近代中国に大きな影響を与えた。彼らは文書による伝道に積極的であった。聖書のような宗教的文書のみならず、欧米の科学技術や文芸・思想を漢文に訳して紹介し、東アジア世界の近代化に貢献した。漢文は中国だけではなく東アジアの知識人が等しく理解する言葉であったため、宣教師たちは漢文の著作によって彼らへ影響を与えることをも狙ったのである。

中国語の変化にも宣教師の翻訳・教育活動に端を発するものがある。例えば、もともと「彼」「彼女」「それ」を同じく tā と発音する中国語（官話）において「他（彼）」「她（彼女）」「它（それ）」という文字上のみの使い分けが必要と認識されたのは宣教師の外国語（英語、フランス語など）教育の影響といえる。She/her を表す「她」は 20 世紀に新たに作られた漢字であった。また古典的な漢文は英語の関係節を含む文のような長文は構成しづらい。現代中国語は外国語の翻訳によって築かれた面がある。近代には古典的漢文ではない新たな文体が模索されたのである。

さらに一部の宣教師は清朝や中華民国の官位を得て中国の近代化政策に直接協力していた。以前の中国史研究ではこうした宣教師は外国の侵略者の手先として断罪されていたが、現在では彼らが中国の近代化に果たした役割を再評価する動きが広がっている。

問 1 下線部①について、16 世紀から 19 世紀にかけてのフィリピンの宗主国の変遷とそれへの抵抗を、以下の語群から 4 つ選びつつ 100 字以内で説明しなさい。選んだ語は解答文中で必ず下線を引いて示すこと。

マゼラン	コロンブス	カブラル	アメリカ=スペイン戦争
アメリカ=イギリス戦争	フレンチ=インディアン戦争		
アギナルド	ファン=ボーイ=チャウ	ティラク	1898 年
1798 年	1698 年	1598 年	

問 2 下線部②について、彼が所属していた修道会の創設者の名を答えなさい。

問 3 下線部③について、リッチが関わっていない著作を次のア～オの中から一つ選びなさい。

- ア. 『天主実義』 イ. 『坤輿万国全図』 ウ. 『交友論』
エ. 『皇輿全覧図』 オ. 『幾何原本』

問 4 下線部④について、この皇帝の治世の出来事として正しいものを次のア～カの中から一つ選びなさい。

- ア. 治世の前半にオイラトとの戦いに敗れ捕虜となった。
イ. 治世の後半にも豊臣秀吉の朝鮮侵攻に直面し朝鮮に援軍を送った。
ウ. 治世の前半に鄭氏を降伏させ台湾を版図に加えた。
エ. 治世の後半に少年時代の師であった張居正に国政をゆだねて顧みなかった。
オ. 治世の前半に三藩の乱が起こり8年をかけてようやく鎮圧できた。
カ. 治世の後半に李自成の乱が起こって都が陥落したため自殺した。

問 5 下線部⑤について、イタリヤ人宣教師カステリオーネが都の近郊に設計した、ヨーロッパ式庭園を持つ離宮の名を答えなさい。

問 6 下線部⑥について、これにはキリスト教の教義と矛盾する中国の風習を中国人信者に許すかどうかという問題が関わっている。この問題の名称を答えなさい。

問 7 下線部⑦について、中国に宣教師を派遣していたのはフランチェスコ修道会やドミニコ修道会などである。中世のドミニコ会士で『神学大全』を著した学者の名を答えなさい。

問8 下線部⑧について、ロシアからソ連に至る時代の対中関係について述べた文として正しいものを次のア～カの中から一つ選びなさい。

- ア. ピョートル1世は康熙帝との間でネルチンスク条約を結んだ。
- イ. エカチェリーナ2世は乾隆帝との間でキャフタ条約を結んだ。
- ウ. アレクサンドル1世はアイグン条約により沿海州を獲得した。
- エ. ニコライ1世は義和団事件に対し出兵した。
- オ. スターリンは中ソ対立にからむ珍宝島（ダマンスキー島）での衝突に関し核兵器の使用に言及した。
- カ. フルシチョフは中ソ友好同盟相互援助条約を結んだ。

問9 下線部⑨について、清朝がアメリカと結んだ初めての修好通商条約を答えなさい。

問10 下線部⑩について、近代中国が経験した戦争と内乱を発生年の順に記号で解答欄に書きなさい。

- ア. 北伐 イ. 第一次世界大戦 ウ. 捻軍の乱 エ. 日清戦争
- オ. 清仏戦争 カ. 義和団事件 キ. アヘン戦争

問11 下線部⑪について、言文一致は近代中国文学の課題の一つであった。その画期となった文学革命を提唱した人物の名を答えなさい。

IV 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。(20点)

① インドネシアは豊富な天然資源と2億3000万人を超える巨大な人口、広大な国土を背景に現在急速な経済発展をとげている。日本との関係も経済を中心に深まり、現地に進出した日本企業はすでに1000社を超え、味の素やヤマハなどはすでにインドネシアでも知られた企業とってよい。

日本は第二次世界大戦中の1942年にインドネシアを占領、軍政下に置くとともに日本語教育を進め、いわゆる「皇民化」を試みた。1945年8月、日本の占領から解放されたインドネシアはインドネシア共和国の独立を宣言した。オランダはこれを認めず武力介入を試み植民地支配の復活をめざすが失敗。1949年にはインドネシア共和国の独立が認められた。

独立したインドネシアでは1955年に国際会議を開催して29カ国の代表を集め、平和共存・反植民地主義をうたった平和十原則を採択した。またティトー、ナセル、ネルーが呼びかけてユーゴスラヴィアで開かれた1961年の国際会議にも代表を送り、米ソの陣営のいずれにも属さない地域、すなわち第三世界としての連帯を確認した。

⑤ 東南アジアにおける共産主義の拡大を防ぐことを当初の目的として、1967年にインドネシアは他の4カ国とともに国際組織を結成しその原加盟国となった。この組織は現在では加盟国10カ国を数え、域内の人口は6億に迫り、巨大な地域圏として存在感を高めている。

インドネシアの初代大統領は米ソどちらにもつかない道を模索したが、徐々に共産党とも協力し中国への接近を図っていく。しかしそれを不満とする軍部は1965年のクーデターを機に実権を握り、彼は失脚することとなった。共産党は弾圧され、1968年にはスハルトが大統領として登場する。

社会主義国のベトナムやカンボジアに近いというインドネシアの地理的条件から、スハルトはアメリカの黙認を得て、経済発展や社会の安定のためと称して政治運動や社会運動を弾圧し、近代化の進展によって自らを正当化するという手法で長期政権を維持した。実際1970～80年代にはインドネシアは他の東南アジア諸国とともに高い経済成長率を誇り、工業化と国土の開発が進んだ。

1990年代後半の経済の失速からスハルトは1998年に失脚する。スハルトの強権体

制が崩壊すると、インドネシア領内ではそれまで抑えられてきた民族的・宗教的対立が再燃、暴動やテロが頻発するようになった。その中で、1976年にインドネシアが併合を宣言した旧ポルトガル領地域が住民投票の結果 2002 年に分離独立を果たし、21 世紀最初の独立国となった。

問 1 下線部①について、この国の現在の首都はどこか。ア～カの中から一つ選びなさい。

- ア. ジャカルタ イ. クアラルンプール ウ. ヤンゴン
エ. プノンペン オ. ホーチミン カ. マニラ

問 2 下線部②について、第二次世界大戦当時の東南アジアの状況として誤っているものを次のア～カの中から一つ選びなさい。

- ア. インドネシアは宗主国オランダの植民地政府の降伏に伴い日本の占領下に入った。
イ. ベトナムではホーチミンが日本の軍事占領に対して抵抗した。
ウ. フィリピンは日本に占領されるが太平洋戦争末期にはアメリカに奪回された。
エ. カンボジアでは日本軍のインドシナ進駐後、シハヌークが日本を後ろ盾として王位に就いた。
オ. タイは立憲革命の後ピブンが首相となり日本に接近した。
カ. ミャンマーではクキン党のアウンサンが当初日本軍に協力したが後に抗日に転じた。

問 3 下線部③について、このときの指導者の名を答えなさい。

問 4 下線部④について、この会議の名称を答えなさい。

問 5 下線部⑤について、この会議の名称を答えなさい。

問6 下線部⑥について、冷戦期における次のア～カの事件を、発生した年代順に並べ記号で解答欄に書きなさい。

- ア. 朝鮮戦争 イ. プラハの春
ウ. 日中国交正常化 エ. NATO (北大西洋条約機構) 結成
オ. キューバ危機 カ. ワルシャワ条約機構調印

問7 下線部⑦について、この国際組織の名称を答えなさい。

問8 下線部⑧について、この事件の名称を答えなさい。

問9 下線部⑨について、高い経済成長を示したアジア各地について正しいものを次のア～カの中から一つ選びなさい。

- ア. 台湾では民進党の李登輝主席が第二次大戦後初めて選挙による民主的な手続きで政権についた。
イ. マレーシアはマハティール首相の下でブミプトラ政策、ルックイースト政策などを展開した。
ウ. 中国は1997年にポルトガルからマカオを、次いでイギリスから香港を返還された。
エ. シンガポールはインドネシアからの脱退後リー=クアンユー首相が長期政権を維持し比較的安定した社会を築いた。
オ. タイでは18世紀からアユタヤ朝が現在に至るまで続き、国王は国民から絶大な敬愛を受けている。
カ. ベトナムはラオス侵攻により国際的に孤立したが1989年の撤兵後はドイモイ政策の進展により経済成長の面で大きな成功を収めている。

問10 下線部⑩について、この地域の名を答えなさい。